

記憶と連想とアナロジー

太田香保（松岡正剛事務所）

1. 情報を分節化（articulate）する

* 複雑で捉えがたい「情報の海」に、句読点を打つ。

* 情報の「地」と「図」の区別を強調して、再秩序化・再編集する。

2. 情報を分母と分子（類と個）で見る。

* 分母が変わると、イメージや意味が変わる。

3. 分類知と編集知を使い分ける。

* 論理的な思考に欠かせない分類知

* 発想力に欠かせない編集知

4. 発想力と思考力のしくみ

* 記憶→想起と、想起→記憶

* 記憶術の「トポス」と「トピカ」

* 自分の認知図式（スキーマとフレーム）を観察してみる

5. 類推（アナロジー）の秘密

* 類似性・相似性の重要性

* イメージとアナロジーの関係

* 編集工学が重視する「3つのA」